

第 37 回 日本鼻科学会 (平成 10 年 10 月 1 日・2 日・3 日)				
会長 齋藤 等 (福井大)				
特別講演およびそれに準ずる講演	シンポジウム	パネル	テーマ指定演題	一般演題数 (テーマ指定演題を含む)
<p>ランチョンセミナー</p> <p>司会 大山 勝 (大島郡医師会病院)</p> <p>「アレルギー性鼻炎の QOL」 朝倉 光司 (札幌医大)</p> <p>第 5 回日本鼻科学会学会賞受賞記念講演</p> <p>司会 奥田 稔 (日本臨床アレルギー研究所)</p> <p>炎症細胞と鼻粘膜構築細胞との間の相互情報伝達 寺田 修久 (千葉大)</p> <p>特別講演</p> <p>“DIESEL PARTICULATES IN ALLERGIC AIRWAY DISEASE” Andrew Saxon (Division of Clinical Immunology & Allergy, UCLA)</p> <p>ランチョンセミナー II</p> <p>「アレルギー性鼻・副鼻腔炎をめぐって」</p> <p>司会 川内 秀之 (島根医大)</p> <p>1. アレルギー性鼻炎・副鼻腔炎合併例に対する抗アレルギー薬の効果 片岡 真吾 (島根医大)</p> <p>2. アスピリン喘息における鼻副鼻腔炎の手術療法 出島 健司 (京府医大)</p> <p>3. アレルギー性鼻炎に対する免疫療</p>	<p>サテライトシンポジウム</p> <p>司会 森山 寛 (慈恵医大)</p> <p>1. 薬物治療の適応と限界・マクロライド療法 山田 武千代 (福井医大)</p> <p>2. 難治性副鼻腔炎に対する薬物療法・手術療法の適応と限界 抗アレルギー剤や局所ステロイド療法 増山 敬祐 (熊本大)</p> <p>3. 薬物療法の適応と限界・去痰剤、ネブライザー療法を中心に 術後療法も含めて 間島 雄一 (三重大)</p> <p>4. 難治性副鼻腔炎に対する手術療法の適応と限界 術後の薬物療法を含めて 春名 眞一 (慈恵医大)</p> <p>シンポジウム I</p> <p>「嗅覚研究の最前線」</p> <p>司会 古川 侃 (金沢大)</p> <p>1. 匂い分子の受容と識別のメカニズム 森 憲作 (理研)</p> <p>2. PET・fMRI を用いた嗅覚形の解析 渡辺 恭良 (大阪バイオサイエンス)</p> <p>指定発言：PET 臨床例 齋藤 武久 (福井医大)</p> <p>3. 脳磁図による嗅覚中枢の同定に関する研究 肥塚 泉 (聖マリ大)</p> <p>4. 神経変性疾患と嗅覚障害 三輪 高喜 (金沢大)</p> <p>5. におい刺激誘発脳波 和田 昌士 (国府台病院)</p>		<p>「鼻処置の有用性」</p> <p>司会 小松崎 篤 (東京医歯大)</p> <p>本庄 巖 (京大)</p>	189 題

<p>法・臨床効果とその機序・ 大橋 淑宏 (大阪市大)</p>	<p>指定発言：嗅粘膜電気刺激 誘発電位 石丸 正 (金沢大)</p> <p>シンポジウムⅡ 「鼻アレルギー研究の最前線」 司会 岡本 美孝 (山梨医大)</p> <p>1. 結核菌 DNA および合成短鎖 DNA による IgE 産生抑制の試み 藤枝 重治 (福井医大)</p> <p>2. Characteristics and roles of nasal mast cells in allergic rhinitis R. Pawankar (日医大)</p> <p>3. 好酸球 寺田 修久 (千葉大)</p> <p>4. サイトカインの面から Th1/Th2 サイトカインの dysregulation に 関連して 松崎 全成 (山梨医大)</p> <p>5. アレルギー性鼻炎における炎症性メディエーターの役割 久保 伸夫 (関西医大)</p>			
--------------------------------------	--	--	--	--